

研修費（ 竹村克司 ）出張報告書

令和6年11月10日

氏 名 竹村 克司	研修会等題名 令和6年度下関港東京セミナー 中核市サミット2024 in 秋田
期 間 令和6年10月30日から 令和6年11月1日まで	研修会等会場（市区町村名） 東京ロイヤルパークホテル あきた芸術劇場ミルハス、秋田市文化創造館、 にぎわい広場

研修会概要・意見等

令和6年度下関港東京セミナーに参加させて頂きました。この東京セミナーは、下関市長が主催者で、下関市が地元の港湾協会役員、港湾協会、下関市港湾局、市議会建設消防委員会、計66名がホストになり、他県の皆様を、おもてなしをし、前田市長本人が、「下関港最新トピックス」というお題で、プレゼンテーションをされました。世界中から注目される最高の拠点であること、港を元気にし、下関を元気にしたいとPRされました。また、地元企業もプレゼンテーションをされました。私自身も、下関港の必要性を理解し、世界に誇る最重要拠点であることを理解することが出来ました。

翌日、中核市サミット2024 in 秋田に参加させて頂きました。「中核市」は、地方自治法によりさだめ、政令で指定する人口20万人以上の都市です。都市の規模や能力に応じた事務配分を進めていく観点から、従来の市の事務権限を強化し、出来る限り住民の身近なところで行政を行うという地方自治の理念を実現するために創設されました。今回の中核市サミットには、62市が参加しました。基調講演は、東京大学名誉教授であり、世界風力エネルギー学会副会長でもある、荒川忠一講師が、洋上風力発電によるカーボンニュートラルと地域振興について、講義をされました。風力発電の工学分野から長年研究を行われておられる一方、洋上風力発電と地域との共発展を目指したステークホルダーマネジメントや、政府へ電力ロードマップの提唱などを行われている日本における風力発電を中心とした再生可能エネルギーの導入促進と成長を目指し、様々な提案と実践を関係者とともに進めておられ、中核市と再生可能エネルギーについて講義を受けました。その後、2会場に分かれてのパネルディスカッション形式の講義に参加しました。再生可能エネルギーが創るまちの未来というテー

マで、コーディネーター、コメンテーター、各市3名のパネリストによる、本市市長もパネリストとして、参加され、官民で脱炭素社会を目指す中、経済と環境の好循環をいかにじつげんさせるのか、また地元の理解促進や地域共生の取り組みなど、事例発表を踏まえて、議論が深まりました。事例と対話で検証する実践的な研修を受講することができ、今後の一般質問に役立つ知識が身についたとともに、さらに地域のために勉強しなければいけないと、実感しました。今回の研修を糧に地域に必要な政策や制度を提案できるよう勉強し、市民の皆様の意見を聞き、安心して暮らせる街にするために努力してまいります。